

厚南校区地域計画



厚南校区コミュニティ推進協議会

平成 29 年 3 月

第1章 厚南校区の概要

- 1 歴史背景
- 2 地域の概要と人口予測

第2章 現状と課題

- 1 現状
- 2 課題

第3章 まちづくりの方向性と基本計画

- 1 厚南校区の将来像
- 2 まちづくりの方向性
- 3 厚南校区地域計画
- 4 推進体制

はじめに

1 厚南校区地域計画策定の経過

厚南校区の地域計画づくりについては、平成28年3月にコミュニティ推進協議会の役員が集まり、宇部市市民環境部から「地域における計画づくりの必要性」の説明を受けたことが発端となり取り組むことになりました。

またその場で、「地域計画」は厚南校区コミュニティ推進協議会で作ることや住民の意見を反映させるためにアンケート調査を実施すること、厚南校区まちづくりサークルを活用してまとめることなどが話し合われました。

まず、6月に校区の現状を把握して計画に反映させるために校区内世帯を対象とした「厚南校区まちづくりアンケート」を実施しました。

その後8月から5回に渡って開催された「平成28年度まちづくりサークル」は、今回は計画づくりに向けた「まちづくりについて考える場」として、アンケート調査結果を参考にしながら、分野ごとに課題を出し合い、整理し、課題解決に向けて必要な事業について協議するなど参加者全員で活発な意見を出し合ったところです。

その協議をもとに「地域計画策定委員会」で、さらに協議を重ね「厚南校区地域計画」を策定しました。

2 地域計画の目的

(1) 少子高齢化・人口減少・核家族化が進展する中で、誰もが大切にされ、住みよい安心・安全なまちをつくっていくことを目的としています。

(2) そのために、まちづくりアンケート調査やまちづくりサークルで出された現状と課題を地域のみなさんで共有し、地域全体で協働して取り組むためのよりどころとする計画です。

3 計画の見直し

厚南校区地域計画は、社会情勢の変化や住民ニーズの変化などに対応していくため、必要に応じて見直ししながら、より良いものとしていきます。

第1章 厚南校区の概要

1 歴史背景

昭和16年10月20日に、厚狭郡厚南村が宇部市に編入合併。当時の世帯数は2,388世帯、人口は、11,442人。「厚南」という名前の由来は、明治22年に5つの村が合併するときに、厚狭郡の南部に位置することから付けられた。昭和25年に厚南支所原出張所が設置され、校区も厚南校区、原校区となる。その後、厚南校区の人口は増加の一途をたどり、小学校も新設されて3校となったことから、厚南校区を3校区に分割し、厚南校区、西宇部校区、黒石校区となる。

2 地域の概要と人口予測

面積…3.65 k m²

自治会数…13自治会

世帯数…4,494世帯

人口…10,307人

校区人口予測と高齢化率

	高齢化率	人口	年少人口	生産年齢人口	高齢者人口
			～14歳以下	15～64歳	65歳以上
平成22年	21.96%	10,649	1,429	6,882	2,338
平成27年	27.70%	10,383	1,389	6,122	2,877
平成32年	31.97%	10,103	1,365	5,508	3,230
平成37年	33.35%	9,751	1,386	5,114	3,252

- ・ 平成37年の高齢化率は平成22年の約1.5倍になる。
- ・ 年少人口の割合は平成22年～平成37年にかけて18%台と横ばいで推移している。
- ・ 生産年齢人口の割合は平成22年(59.21%)から平成37年(47.74%)と減少している。

第2章 現状と課題

この計画を作るために平成28年6月に校区の住民を対象としたアンケート調査を行うとともに、8月25日から5回にわたり開催された「まちづくりサークル」を計画づくりに向けた「厚南のまちづくりを考えるワークショップ」の場に置き換え、現状や課題について意見を交換しました。

1 現状

(1) アンケート調査に見る厚南校区の現状

○校区の住みやすさについては、「住みやすい」が52%、「どちらかといえば住みやすい」が45%あり、合わせて97%の方が住みやすいと回答した。

また、これからも住み続けたいかという問いに対しても「ずっと住み続けたい」が64%、「当分は住み続けたい」が33%あり、合計で97%の方が住み続けることを望む回答をした。

○地域で子育てにかかわる活動に参加しているかの質問では、5項目の設問を設けたが、いずれの項目も参加していないという回答が大半（67%～88%）を占めた。

○高齢者福祉分野のボランティア活動について、参加の有無や参加希望を尋ねた質問では、活動してみたいという回答が36%と多かった。

(2) ワークショップでは現状として次のような意見が出された。

○厚南校区の良いところとして、医療関係施設が充実している、地域活動に関心のある人が多い、道路が多いためにいろいろな場所にアクセスできる、山陽本線・新幹線の駅が近い、山・川があり自然環境がある、集会するサロンがある等があった。

○校区行事に参加しない理由としては、拘束時間が長い、人とあまり話したくない、駐車場がない、コミュニティについて関心がない、世代間の考え方が違う、高齢者対象のものがない等があった。

2 課題

将来予測（年代別人口）やアンケート調査結果、ワークショップで出た意見も踏まえて、厚南校区では次のような課題があがった。

○人口全体が減少傾向にあるなか、高齢化が一層進む。

○少子化が継続する。

○核家族化が一層進む。

○地域の活力が低下する。

○若年層や子育て世代の地域活動への参加が少ない。

- 子どもの孤立化があり、子育て環境の整備が必要である。
- 人間関係が希薄化しており、近所に住む人でも付き合いが少ない。
- 「引きこもり」高齢者が多い。
- 人間関係の希薄化を補うべく開催される校区や自治会の行事に男性の参加が少ない。
- 校区や自治会の行事の内容にも見直しが必要。
- 地域活動やボランティア活動を活発化させる必要がある。また、そのための人材を育成しボランティア活動に結びつける仕組みづくりが必要である。
- 災害に対する備え、すべての住民が安心して生活できる環境づくりが必要である。



第3章 まちづくりの方向性と基本計画

1 厚南校区の将来像

「心のふれあう明るく住みよいまち厚南」

先人達が培った協働の精神と伝統やさまざまな事業を受け継ぎ、地域住民の思いやり・やさしさ・助け合いの心を基に、誰もが「ふるさと厚南」に誇りと愛着がもてる「まちづくり」に取り組みます。

また、人口減少と少子高齢化が進行するなかで、住民と行政がお互いに知恵を出し合い、役割分担しながら、さまざまな地域課題の解決に取り組み、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域を目指します。

2 まちづくりの方向性

厚南校区において、みんなが「心のふれあう明るく住みよいまち厚南」という同じ将来像を持ち、実現に向けて、さまざまな団体や個人が協力し合って取り組みが行えるよう、課題を整理して、つぎのような活動目標を立てます。

- (1) 高齢者や障がい者が暮らしやすく、住み慣れたまちづくり
- (2) 児童の健全育成
- (3) 健康づくり
- (4) 地域活性化
- (5) 安心・安全なまちづくり



3 厚南校区地域計画

厚南校区において、みんなが「心のふれあう明るく住みよいまち厚南」という同じ将来像を持ち、今後協力し合って、実現に向けてさまざまな取り組みが行えるよう、活動目標ごとに、基本的な視点を拾い上げ、具体的な事業へと結びつけます。

なお、どの活動目標においても地域活動やボランティア活動に携わる人材の育成や、男女、年齢にかかわらず、誰でも気軽に参加しやすい活動の場づくりと情報の共有化に向けた取り組みが必要になります。

活動目標 ① 「高齢者や障がい者が暮らしやすく、住み慣れたまちづくり」

高齢の人や障がいのある人で自家用車を利用しない場合では、買い物や通院などで外出する際の移動手段の確保が問題になります。また、買い物についていえば移動販売を地域へ導入するなどにより、今後は日常生活を支援していく必要性が増加します。

また、地域の間人関係が希薄化する中で高齢化や核家族化が進むことから、これからは特に高齢の人や障がいのある人への見守りを地域の中で意識的に進めていく必要があります。

スローガン： 「頼り頼られるまちづくり」

基本的な視点

- (1) 自助・共助の視点にたって、地域全体で福祉のまちづくりを目指します。
- (2) 買い物や通院などの移動手段確保に取り組むとともに、買い物については移動販売車の地域への導入なども進め、暮らしやすいまちづくりに努めます。
- (3) 住民同士の交流促進を図り、日頃からの声かけやあいさつ運動にも取り組みます。
- (4) 家の近所で誰もが気軽に集える「集いの場づくり」に努めます。
- (5) 一人暮らしの方などに対する地域の「見守りの体制づくり」に努めます。

主な事業内容

- (1) 高齢者・障がい者などの生きがいつくり事業
- (2) 高齢者・障がい者などの安心・安全事業
- (3) 買い物・通院支援事業

まちづくり項目と主な担当団体・今後の計画

まちづくり項目	具体的な事業	主な担当団体	取り組み期間
高齢者・障がい者などの生きがいつくり事業	居場所づくりのネットワークの構築	校区社協、民児協、自治会、福祉委員など	短期
	年金や贈与、運転免許自主返納のことなど「知って得する講座」の開催	校区社協、自治会など	短期
	有償による「お互いさま活動」の仕組みづくり	コミュニティ推進協議会など	短期
	ご近所福祉の充実	自治会、民児協、福祉委員など	中長期
	ふれあいいきいきサロンの充実	自治会、民児協、福祉委員など	中長期
	介護予防講座の充実	校区社協、民児協、福祉委員、各老人クラブなど	中長期
	茶話会、敬老会の充実	校区社協、自治会、福祉委員、民児協など	中長期
高齢者・障がい者などの安心・安全事業	認知症見守りグッズの配布	民児協、福祉委員、自治会など	短期
	見守り活動の充実	民児協、福祉委員、PTA、ふれあい運動推進委員など	中長期
	障がい者に対する理解を深めるための講座や学習の実施と支援	校区社協、民児協、福祉委員など	中長期

	避難行動要支援者に対する 支援活動	自主防災会、自治 会、民児協、福祉委 員など	中長期
買い物通院支 援事業	買物支援・移動販売車導入	自治会など	中長期
	コミュニティ交通の充実	厚南校区コミュニ ティタクシー運営 協議会、自治会	短期



活動目標 ② 「児童の健全育成」

子ども一人ひとりが人間として尊重され、また、社会の一員として成長に応じた責任と役割を果たしていくことへの自覚を学びながら、生き生きと成長するよう、保護者や地域社会は努めてきました。しかしながら、近年の少子化、核家族化や地域の人間関係の希薄化等の進行に伴い、家庭や地域の「子どもを育てる力」の低下が懸念されています。

若い世代が安心して結婚・出産・子育てができ、子ども達が生き生きと輝き、すくすくとたくましく育つことができる環境づくりが急務です。

そのためには、保護者や地域社会、学校などがそれぞれの責任と役割を果たし、協働して子どもの育成に取り組んでいく必要があります。

スローガン：「子育ての輪をひろげるまち 一人ひとりを大切にするまち」

基本的な視点

- (1) 地域の中で日頃から声を掛け合って相談し合える関係づくりに努めます。
- (2) 乳幼児を育児中の保護者の集いの場づくり、相談できる場づくりに努めます。
- (3) 登下校時の見守り活動を継続拡大します。
- (4) あいさつ運動を継続拡大します。
- (5) つくしんぼ教室（放課後こども教室）などコミュニティ行事にさまざまな年代の子どもが参加しやすいように工夫し、三世代交流の充実にも努めます。
- (6) 学校、PTAや厚南児童館と協力し、コミュニティスクールも活用しながら「子どもの居場所づくり」の推進に努めます。

主な事業内容

- (1) 地域ぐるみの子育て支援事業
- (2) 子育て親子支援事業
- (3) 世代間交流事業



まちづくり項目と主な担当団体・今後の計画

まちづくり項目	具体的な事業	主な担当団体	取り組み期間
地域ぐるみの 子育て支援事業	あいさつ運動の充実	P T A、自治会、 各老人クラブなど	短期
	登下校時の見守り 活動	P T A、自治会、 各老人クラブなど	短期
	つくしんぼ教室 (放課後子ども教 室)の充実	P T A、つくしん ぼなど	短期
	子育て講座・講演 会	P T A、母推など	短期
	子ども会の健全育 成	厚子連、自治会な ど	中長期
子育て親子支援事 業	子育て応援隊 育児サークル	母推、福祉委員、 母親クラブ、自治 会、各老人クラブ など	中長期
	子ども遊び場確保 *厚南体育広場を (宇部市の管轄か ら)地域に開放し て、子どもの遊び 場を確保する。 *競馬場跡地を子 どもの遊び場に活 用する。	P T A、自治会な ど	中長期
世代間交流事業	コミュニテイスク ール活動を通じた 地域交流 昔の遊び体験活動 (コマ・タコ・竹 馬・竹とんぼ他)	自治会、民児協、 P T A、小中学校、 つくしんぼ、各老 人クラブなど	短期
	厚南小学校農園の 利活用	コミュニティ各団 体	短期

活動目標 ③ 「健康づくり」

健康長寿を目指すには、食事や運動、休養など、よりよい生活習慣を身につける必要があります。また、地域全体の健康度を高めるためには個人の努力だけではなく、社会共通の課題として個人を支える環境づくりを進めることが必要です。地域全体の取り組みを進め、一人ひとりの健康づくりが生活の中で習慣化し、家庭や地域社会に広がり、次世代に伝えていくことで、元気な地域を目指します。

スローガン： 「みんなが健康づくりに取り組む明るく元気なまち厚南」

基本的な視点

- (1) 気軽に集い、地域ぐるみで互いが声をかけ合いながら健やかに健康づくりに取り組める場を広めます。
- (2) コミュニティ行事など地域の行事にも健康づくりを取り入れます。
- (3) 地域の関係機関や事業者の協力も得ながら個別指導や全体指導も取り入れます。

主な事業内容

- (1) 健康づくり推進事業



まちづくり項目と主な担当団体・今後の計画

まちづくり項目	具体的な事業	主な担当団体	取り組み期間
健康づくり推進事業	ウォーキングの普及	校区社協、自治会、体振など	短期
	ラジオ体操の普及 健康体操の普及 体力づくり区民運動会 誰もが参加しやすい競技大会の開催	体振、自治会など	短期
	各種健康講座の開催	体振、各老人クラブ、自治会など	短期
	健康集いの場の充実	自治会、各老人クラブなど	中長期
	料理教室の開催	四季の会、母推、食推、つくしんぼなど	短期

活動目標 ④ 「地域活性化」

地域の活性化を図るとともに人と人との「絆」を深めるための行事を開催します。なお、行事を開催するにあたっては、様々な年代が参加しやすい内容となるよう、また三世代交流を視野に入れた内容になるように配慮します。

また地域の伝統や文化を大切に守り継承しながら、厚南校区の新しい文化となりうるような地域の新たな魅力の模索と情報発信に取り組むなど、地域の自然や特産品を活かしたまちづくりに努めます。

スローガン：「人と人がつながり、にぎわいと文化があふれるまちづくり」

基本的な視点

- (1) 誰もが参加しやすい諸事業を実施し、人と人との絆を強め、住んでよかったと思えるようなまちづくり・人づくりに努めます。
- (2) 地域の伝統・文化の継承に向けた取り組みを検討します。
- (3) 厚南の文化といえる地域の魅力を掘り起こし、アピールします。
- (4) 住民ニーズに合った多様な学習機会の充実に努めます。

主な事業の内容

- (1) 活力のある人づくり事業
- (2) 活力のある地域づくり事業
- (3) 地域の文化・歴史等の継承事業



まちづくり項目と主な担当団体・今後の計画

まちづくり項目	具体的な事業	主な担当団体	取り組み期間
活力のある人づくり事業	地域行事（厚南まつり・厚南ゆめ広場）学生ボランティアの参加	コミュニティ推進協議会、コミュニティスクールなど	短期
	地域ボランティア育成（子育て支援、高齢者見守り）	厚南ふれあいセンターなど	中長期
	後継者育成・養成	厚南ふれあいセンターなど	中長期

活力のある地域づくり事業	自治会加入促進運動の推進事業	自治会	中長期
	フィルムコミッション	コミュニティ推進協議会など	短期
	厚南ふるさとまつり、ゆめ広場	コミュニティ推進協議会など	短期
	こうなんちゃんの活用	コミュニティ推進協議会など	中長期
	休耕田の活用	コミュニティ推進協議会、自治会、地区連など	中長期
	宇部駅前の整備		中長期
	核となる商業施設の誘致		中長期
地域の文化・歴史等の継承事業	厚南の文化財や年中行事・歴史の伝承	郷土史研究会など	中長期
	教養講座の充実	校区社協、人権推進協議会、公民館など	中長期
	人権啓発活動事業講演会・学習会	校区社協、人権推進協議会、民児協など	中長期



活動目標 ⑤「安心・安全なまちづくり」

厚南校区は、安心・安全な住みよい地域づくりを目指して、防災面だけでなく、防犯や環境美化活動にも取り組んできました。今後も、防犯防災意識を一層高め、共に助け合う人間関係づくりも併せて、災害に強く、犯罪のないまちづくりを推進する必要があります。

スローガン： 「心も身体も安心・安全なまちづくり」

基本的な視点

- (1) 関係機関と連携し交通事故防止や防犯意識を高め、一人ひとりが安心して安全に暮らせる地域社会づくりに努めます。
- (2) 防災の面では、防災意識の高揚と自主防災組織の強化に努め、社会的に弱い立場の人たちを含めた防災・減災対策に努めます。
- (3) 犯罪のない地域、また住民が犯罪に巻き込まれることが少ない地域を目指します。
- (4) ごみ減量化や資源の再利用など環境にやさしい地域づくりに努めます。

主な事業内容

- (1) 交通安全対策事業
- (2) 防災・減災対策事業
- (3) 防犯対策事業
- (4) 環境対策事業



まちづくり項目と主な担当団体・今後の計画

まちづくり項目	具体的な事業	主な担当団体	取り組み期間
交通安全対策事業	交通安全啓発活動継続	交通安全協会、PTA、自治会など	短期
	高齢者・大人と子どもの交通安全教室開催		
	高齢者の運転免許証自主返納促進策の検討		

	自転車事故防止に向けた教育・啓発継続		
	通学路の安全点検・見直し継続	交通安全協会、PTA、自治会 小中学校	
	交通網の整備について要望継続	自治会連合会	長期
	道路整備について要望継続		
防災・減災対策事業	厚南地区防災計画の作成	自主防災会	短期
	定期的な防災パトロール継続	自主防災会、自治会、PTA、子ども会など	中長期
	防災マップの作成・配布（避難場所・避難経路の確認と周知）		
	防災・減災に関する啓発事業		
	定期的な自主防災訓練 総合防災訓練の実施		
	防災資器材の充実		
防犯対策事業	定期的な防犯パトロール継続		
子ども見守り活動の継続・拡大			
防犯啓発活動事業			
「こども110番の家」周知・再登録事業			

	空き家対策を市へ要望継続 地域でも空き家対策を検討	自治会連合会など	中長期
環境対策事業	ごみの分別収集の徹底	自治会、環衛連など	中長期
	3Rの推進及び啓発活動		
	生ごみの水切りによる燃やせるゴミの減少 (水切り方法の検討)		
	太陽光発電の導入による地球温暖化対策		
	ゴミのないまちづくり	自治会、環衛連 小中学校など	
	ダンボールコンポストの取り組みによる生ごみの減少化		
	環境教育・啓発の推進(小中学校での環境学習)		
中川の整備	コミュニティ推進協議会、中川をきれいにする会、環衛連など	中長期	



4 推進体制

地域計画を具体的に組み組んでいくためには、これまで各種団体が取り組んできた経験やノウハウを基本とし、厚南校区コミュニティ推進協議会が中心となって、自治会連合会と共に連携・協働しながら住民全体がまちづくりの役割について理解・関心を持つよう情報の共有・発信および周知が必要です。

また、今後厚南校区コミュニティ推進協議会の機能化が求められています。そのため自治会連合会や各種団体からのご意見を事務局が調整します。

まちづくり事業の具体的な企画・立案を推進していくコミュニティ推進協議会を中核として、厚南校区地域計画で定める5分野でつくる部会とともに推進していきます。